日刊

常磐新聞

發行所 常磐新聞社 福島縣平町南町五九
發行人 伊藤際次 福島縣小名濱町古港一

九月五日夕刊

一ヶ月 三十錢
一部 二錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

不漁の祟り 我れ抜群の功をと 金華山沖に爭ふ

小名濱入港魚船多數ある中に殊に活動目覺しき魚船は金華山沖に活躍しつゝあるのが昨日今日の出漁船の方向である。入港中の王座を占むべ中之作盛厚丸は今朝續行中でまだ報を聞いてない。福田丸の如きは昨夜まで魚獲全然ないのは珍らしい、第二共和丸は今朝早く歸港魚獲別に驚くべき程もなく平常だつたが、鳳凰丸が昨夕金華山沖で鰹六十四本しかなかつたのは稀な事である、今朝まで調査に續航してゐる五十鈴丸の如きは昨朝より調査に續行し、一尾も認めず、死にもの狂への結果鰹二千三百尾を獲て今朝入港した、三徳丸は金華山沖にて二千二百五十本をとり或船は同沖東南廿三度で鰹十本しかなかつた船さへあり、船名は特に秘す。又鰹三百五十尾の魚獲の漁船もあるが何れも船名を略す。かくの如く魚船の殆んとは同沖が其の魚場である爲めに漁獲を爭ふ漁船の殆んとは方向を他船へ知らす事を禁じ、その狀たるや實に百獸の獲をあさるに似る

近在部落民 果實の早採り法斷行 續く雨天にカボチヤ類腐る

惡天候引續いての此の頃の氣候は其の影響すべてに及ぼし、殊に商業農業に於ては甚だしいものである。云ふに及ばず商業は客の少ないのが其の影響の大なるところであるだけに天候良くなれば一變されることが眼に見えてゐる。然るに農家においては作物の被害甚大である、殊に小名濱部落は夏の果實の栽培が他の地方と異なつて發達してゐる、例へばカボチヤスイカ、瓜等に到る期節のナリモノは連日の雨に腐れを生じ部落民は非常に困り其の手當に窮してゐる。商業と異なりその祟りが後まで及ぼすものなれば農家の惱みは此の上ないも察するに余りある、小名濱近在部落ではかゝる天候が自然の現象とは云へその防止方法に窮してゐる、そこで早採斷行、まだ青い果實をとつて腐らすよりましだと喚きをしてゐる農民の苦笑が見られる。

驚く勿れ!! 大敷網の水揚一万圓 東京出しの鮮魚トラック 一臺の儲け何と五十圓以上

近海隨一の漁港小名濱は毎日の水揚げ實に他港壓倒し從つて入港數も亦實に他港と比較にならぬ程多い。水揚げられた魚は直ちに多勢のイサバヤに依つてそれ〴〵處理され、或へは東京へ或へは當地の加工となるものが多い東京出しの生魚に自動車直通で持つて行くものもあり泉驛から鐵道の世話になるものとある自動車直通の東京出し鮮魚は四時間の疾走から遲くれて六七時間にて運搬され。それが一臺のトラックにつんで行つた儲け五十圓から百圓平均だと云ふのだから實に聞くも胸がスーツとして不景氣知らずの話である上には上がある、大敷の此の間の一回の水揚總額一万圓と云ふから此れも大きい此の巨額な水揚が絶いないのと云ふのだからいくら失敗は金がかゝるとは云へ大したもんだ、男一匹度胸だめしどうせ船を出すなら大敷さ、立つかつぶれるか漁獲一つにあり。

豐間村の火事

石城郡豐間村沼ノ內、海產物商長山喜助氏から四日午前六時半ごろ發火し同家を全燒他に一棟半燒したが原因は提燈の置き忘れ、損害百圓尚消火に努めた同村第三部消防手大谷利七(三〇)は眼に負傷した。

グツついたお天氣續く 二百廿日は安心? 西風北風か吹くにつれて お天氣恢復

二百十日も難なく樂土我天地を去つた
農家はほつと安堵の胸をおろし、惠まれた當地方の天候に人知れず感謝の念の湧き出づるを止め得ない。
一難さりて一難來る……
だが然し……
二百廿日なるものが控えてゐるのは何よりの氣がかりだ測候所の觀測によれば颱風が小笠原方面から北進し關東以西に方向をとりつゝあるので當地方では直接には被害をこうむる事はない氣壓の關係で此の期には常に小笠原方面に生じた台風が北進するのが例であるが當地方を通過する怖れは絶對にないと信じられてゐる季節風の變轉期である、此の月は一年中に一番雨量多く現在の天氣が其のいちじるしい例を示めしてるわけである。北風、西風が出てくるにつれて天候は晴にむかつて來る、今月下旬には其の兆候が次第に見られ秋風の良いお天氣となるでせう。

縣告示と平衡して 齋藤晃氏立候補屆 立憲養生會推薦の下に 縣下第一のトップ

立憲養正會石城郡支部長玉川村住吉齋藤晃氏は今五日縣告示と同時に立候補屆を平警察署に提出した、今回の縣議戰第一番の旗揚である。齋藤氏は石城郡養正會支部長として、四千に余る會員あり氏の出馬は各政黨に大なる衝激を與へつゝある

街の噂

縣議戰も二旬しか余日がない、四日迄は陰性であつたが愈々五日より陽性になつて熱も鼎つて來ることであろう、九月一日發行磐城之實業三面に『海を護れの縣議を送れ』小野務平氏署名の一文を見たが、あれは條理整然たる大文章であつたそう云ふ記者も小野氏と同意見で筆を持てばこそ氏の意見も知り快心の同志のある事に包め切れぬ悅びあるが、筆を持たぬ沿岸町村民も自分等と同じ意見ではないかと、思はるるのは正論であり純眞なる愛鄕心より出發した意見であるからである、團結の力は意見の一致より大なるはない、畄いや利害より出發した一致は砂樓と異ならない、自分等の代表者を縣會に送る議員になつた代表者も鄕土人一致の支持に依て議員になつたのだ一身を粉にしても盡さなければならぬ、の信念を强めせる事も滋石と鐵紛の關係を作る、夫れが理想でなければならぬ、目前に迫つた縣議戰、我等沿岸に居住するもの超黨的候補者を物色して我等の代園を勤めさせようではないか!。

× ×

關彰商店烏有に歸す、御見舞申す。

× ×

小名濱に於てガソリン爆發死傷慘事あり、今亦平町の慘事だが自然發火にあらず過失たり、正に油斷大敵—

× ×

平驛を中心にいよ〳〵ガソリンカー走る、陳情の功にあらず、自動車に客の奪はるゝがためなり

× ×

陰鬱な天候續き再び農家の心盛る。

大波小波

關東北水產大會盛會裡に終る天候に惠まれざれしは遺憾なりき

× ×

縣議戰愈々本格的ならんとす。然るに選擧肅正の聲何時の間にか薄し

× ×

是れ選擧肅正既に徹底せしや 否!實戰は肅正等を叫ぶ暇なし、肅正に氣を取らはれば戰力鈍る。

濱だより

小名濱 魚市場調査

魚名	魚獲高	單價
カツヲ	三六七八本	六〇錢—七〇錢
スズキ	十貫	二六〇錢
イワシ	四〇〇〇ケ	六五錢—五五錢

入港數

カツヲ船	二
大敷積船	二
スズキ船	一
アグリ船	六

◇天氣豫報 五日 小名濱測候所發表

今晩は北東風雨模樣
明日 曇り惡天候も恢復する徵候あり
氣壓=七百六十一粍五

難波醫院
醫學博士 難波睦
平町大町七番地

常磐論壇

船主の爲めに船員の爲めに

近來小名濱船主間に於て船員爭奪を公然而も平然として彼方此方に展開されてる船主たる以上定員丈けの船員は必要である、二名でも三名でも拔かれゝば又補充しなければならぬ、拔く方も拔かれる方も表面は何等規約のない以上、平然を裝ふであろうが、拔かれた方では野郎やつたな、と胸底に刻付けるであろう、やる事はやられる意味だ、小さな小名濱一圓に於て斯云ふ事を繰返して居つては船主自身が不安であり、船員としてもへたな賤業婦の如く金さい多ければ何時でも身賣する、では主從關係が薄らく、いざ一身上に何事か起つた場合には親身になつて面倒を見る船主がなくなるは道理だ。

依て記者は船主並に船員諸君に相互扶助の精神に則り船主會、船員會、を組織し立派な規約を作製し車の兩輪の關係を保持する事を進言したいのである。

船主間の規約も常識的で結構だと思ふ、船員間の規定とて船主の立場を考慮に入れ自主的でも差支がない、而して船員の移動等に就ては公然と明朗な意氣でなしうる方法はいくらもある。兩者の考慮を切にお勸めしたい。

内科、小兒科
婦人科、花柳病科

久保田醫院

小名濱町
電話二二番

船陸發動機製作
並ニ修繕
電動機諸機械
販賣修繕

電話開通（小名濱）一七五番

丸八鐵工場

小名濱町漁港入口

『玉の井』

長瀨彰義釀造

石城郡玉川村

魚鑛油市場部

三井生命保險株式會社
大正火災保險株式會社　代理店

磐城水產工業株式會社

小名濱町築港內
電話一四四番

小兒科
小耳鼻科
外科
花柳病科

宮津醫院

小名濱町役場向
電話一四二番

時代の生んだ

大衆食堂

金時バー

小名濱町中島通り
電話十二番

增車の御知せ

每度御愛乘に預つて居ります馬目自動車ですが今回弟分として新フォードを增車しました。乘心地の好へ事は請合です。

新車の御披露として九月一杯は御禮心地にて二割引の奉仕を致します。

是非御試乘待上ます。

馬目自動車部

小名濱町　電話一三八番

最も理想的な相互扶助機關

（共存共榮自力更生の大策）

中小商工業者の一大福音
石城中小商工互融會生る！
融資希望の方へは

▼十錢の日掛をなし三十日以上の掛金をすれば九十圓の御用立を致します

▼僅か十錢の日積でも滿額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します

◉皆さん御利用を願ひます
相互扶助機關

石城中小商工互融會

福島縣平町才槌小路一番地

四倉方　部
四倉驛前電話一八番
本方　部
湯本驛前電話六七番

湯

我れ等の

九月七日夜

東海林太郎氏來る

會場　磐城座

ラヴミー化品特賣デー
五十錢お買上げの方には無料入場券差上げます

販賣店　洋品雜貨
美粧具　金成屋洋品店
小名濱町中島

外科專門　レントゲン科

上田外科醫院

◇病室の設備有り入院應需

眼科一般

小名濱眼科醫院

小名濱町

齒科一般
口腔外科

木田齒科醫院

小名濱町電話一〇五番

廣告の御用は
廣範圍に頒布する
常磐新聞社

科齒科一般
口腔外科

森合齒科醫院

常磐線植田驛

正確な
体溫計は……
寒暖計は……
計量器指定販賣店

クスリ

資生堂

福島縣小名濱町
電話一四七番